

平成16年 4月17日

ここのえ町

議会だより

第65号

発行／九重町議会

〒879-4803
大分県玖珠郡九重町大字後野上8-1

☎ 0973-76-3814

編集／議会広報編集委員会

印刷／尾花印刷有限会社



模擬議会で熱心に質問するジュニアデザイン会議のメンバー

3月定例会

- **第1回定例会** 当初予算関係・契約関係・条例関係 P.2
- **陳情・請願・人事案件** P.3
- **条例関係・合併協議会** P.4
- **発議(意見書提出)** P.5
- **一般質問(5名登壇)** P.6～10
- **わたしのひとこと**
 - 東飯田 江藤 重太さん P.11
 - 南山田 佐藤 文男さん
- **こんな町にしてほしい** 南山田小学校6年 広田 達也さん P.12

平成16年

第1回定例会

3月
定例議会

平成16年、第一回定例議会は3月5日から3月19日までの会期で開催されました。平成16年度予算や15年度補正予算、人事案件、条例改正、工事請負契約などの議案が提出され、いずれも可決認定しました。

17年度 一般会計

総額で74億17百万円

〈主要な事業〉

- 鳴子川溪谷及び周辺整備事業費 6億82、995千円
- 防災行政無線整備事業費 3億68、259千円
- 宝泉寺栗原線工事費 2億59、739千円
- 中山間地直接支払事業費 56、881千円
- 畜産基盤再編整備事業費 80、810千円
- バイオセンター委託料 78、500千円
- 知的障害者福祉費 78、786千円
- 恵良住宅集会所建設費 21、071千円
- 梅ノ木集会所建設費 14、598千円
- 横尾集会所建設費 17、044千円

造成工事中の大吊り橋建設工事現場

〈契約関係〉

- 鳴子川大吊り橋本体工事
契約金額 9億47、100千円
契約方法 一般競争入札
契約者 川田工業株式会社 九州営業所（福岡市）
- 町道宝泉寺栗原線B.P整備工事
契約金額 1億01、325千円
契約方法 指名競争入札
契約者 小倉建設株式会社

当初予算審議

- 畜産基盤再編総合整備事業負担金8千81万と計上されているが内容は。
A 内訳は3団地で、100頭規模の畜舎1棟と50頭規模が2棟などで飯田地区です。
Q 低コスト肉用牛地域活性化補助金17、047千円の内訳は。
A 地域は南山田2件、飯田4件、野上2件です。
Q 中山間地域総合整備事業負担金2千6百万円の実施地区は。
A 鹿伏と梅木釣、鳴川などです。圃場整備は、こべ原とつなかけ、小園、まかだです。
Q 生産基盤高度化緊急対策事業補助金27、255千円の内容は。
A 椎茸生産基盤の補助でハウスや暖房機、保冷庫などで、九重椎茸生産組合、桐木椎茸生産組合、宝竜原椎茸生産組合、大分やまなみ椎茸生産組合で、3戸以上であることが条件です。

議会の動き

- | | | |
|-----|----------------------------|-------------------|
| 1月 | 8日 | 九重町消防団特別点検（栗野河原） |
| 9日 | 鳴子川溪谷周辺整備事業安全祈願祭（現地） | |
| 13日 | 故渡邊五嗣名誉町民合同葬儀 | |
| 14日 | （文化センター） | |
| 15日 | 日出生台演習場三町連絡協議会（玖珠町） | |
| 16日 | 佐賀県三養基郡議長会視察来町 | |
| 22日 | 日出生台演習場三町連絡協議会陳情（防衛施設局） | |
| 27日 | 玖珠郡公共協議会（九重町役場） | |
| 27日 | 米海兵隊実弾射撃公開訓練視察（総務財政常任委員会） | |
| 27日 | 28日 日田玖珠広域議会決算審査特別委員会（日田市） | |
| 30日 | 産業後継者を励ます会（玖珠農業高等学校） | |
| 2月 | 7日 | 新春かくし芸大会（文化センター） |
| 13日 | 15日 | 九重水の祭典 |
| 17日 | 18日 | 九重町緑化推進委員会 |
| 18日 | 19日 | 日田玖珠広域議員視察研修（福岡市） |
| 19日 | 高齢者の生きがいと健康づくり推進大会 | |
| 20日 | 大分県町村議会議長会定期総会（大分市） | |

みなさん方の陳情や 請願はこうなりました。



陳情

連合大分玖珠地域協議
会議長、佐藤正和氏から
の年金課税強化の撤回を
求める意見書の提出につ
いては。

国税及び地方税との絡
みもあり、さらに検討を
加える必要があり、継続
審査とすることで意見の
一致をみました。

駅舎を活性化させること
により町の活性化につな
がっていくと考えられる。
したがって、採択するこ
とで意見の一致をみまし
た。

大分県小中学校長会協
議会玖珠郡校長会会長、
森憲氏からの「義務教育
費国庫負担制度」の堅持
を求める意見書の提出に
ついては。

請願受付番号第二号と
同一趣旨であることから
みなし採択とすること
意見の一致をみました。

請願

玖珠地区平和運動セン
ター議長飯室浩幸氏から
のイラクへの自衛隊派遣
中止と事態の平和的解決
を求める意見書の提出に
ついては。

政府も「イラクにおけ
る人道復興支援活動及び

営化されると地方の不採
算地域においては、各種
料金の値上げや郵便局の
廃止が想定され地域住民
の生活に大きな影響を及
ぼす恐れがあるため採択
することで意見の一致を
みました。

大分県教職員組合玖珠
支部執行委員長、佐藤明
彦氏からの「義務教育費
国庫負担制度」の堅持を
求める意見書の提出につ
いては。

義務教育費国庫負担制
度の見直しが行われると
地方自治体負担の増大に
つながり、財政危機を招
くおそれがあるため採択
することで意見の一致を
みました。

郵政退職者連盟大分県
連合会九重地区会、会長
仲摩孝氏からの郵政事業
の民営化に反対を求める
意見書の提出については。

日本郵政公社は平成15
年4月1日に発足し、国
民の日常生活に不可欠な
郵政三事業を実施してき
ています。郵政事業が民

固定資産 評価審査委員

有吉富士男氏の
選任に同意



現職の永楽篤憲氏の任
期が平成16年3月26日ま
でとなるため、後任の固
定資産評価審査委員の選
任に満場一致で同意しま
した。

豊後中村駅開発促進協
議会、会長日野爾郎氏外
二名からの豊後中村駅構
内のバス待合所の新設に
ついては。

中村駅周辺は近年急速
にさびれてきている現状
にあり、日本一の大吊り
橋が完成すると中村駅は
飯田高原の玄関口とな
り、現在の駅舎は老朽化
してきておりこのまま推
移すると飯田高原の玄関
口が衰退してしまう危険
性がある。駅舎とバス待
合所の建築を早急に行い



29日	26日	24日	19日	16日	15日	12日	11日	10日	9日	8日	"	"	5日	4日	2日	3月	26日	21日	"	
日田玖珠広域議会 (日田市)	議会広報特別委員会	議会(亀鶴苑)	玖珠郡老人養護組合 議会(閉会)	本会議(一般質問)	本会議	総務財政常任委員会	建設産業常任委員会	教育民生常任委員会	本会議	本会議	本会議	本会議	本会議(開会)	委員会	議会運営委員会	鳴子川周辺調査特別	玖珠郡公民協議会(玖 珠町役場)	議模模議(議場)	ジュニアデザイン会	久大地区活性化議長 連絡協議会(大分市)

条例関係等の議案

議会の議決その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正については。

地方公務員災害補償法の一部が改正されたことに伴い本条例の一部を改正するもので罰則規定の金額十万円を二十万円に改正するものであり**適当である**との結論に達しました。

手数料徴収条例の一部改正については。

主要食料の需給及び価格の安定に関する法律の改正に伴い本条例の一部を改正するもので**適当である**との結論に達しました。

九重町町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正については。

恵良住宅の駐車場が年度末に完成するため別表に追加するものであり**適当である**との結論に達しました。

簡易水道事業条例の一部改正については。

消費税の表示方式が平成16年4月1日から消費税の相当額を含む総額表示に変更されることに伴う改正であり**適当である**との結論に達しました。

各種集会所の設置及び管理に関する条例の一部改正については。

小平谷地区集会所、書曲一、二地区集会所の追加と川西三老人軽作業場の住所訂正及び書曲同和集会所、野倉集会所の名称変更するものであり**適当である**との結論に達しました。



玖珠郡合併協議会「凍結」を決定

玖珠郡合併協議会で「凍結」を表明し事実上「解散」に等しい状態になった。

今後、大型事業がめじろおしの玖珠町、合併特例債を有効に使ってとの思いは我々九重側にはとうてい理解できず、大型事業の見直しや財政状況のすりあわせを主張するが受け入れられず平行線。地方財政はますます厳しさを増す中で互いの合意を見い出せず議論は棚上げ状態になった。さらに追い打ちをかけたのが議員定数の問題。九重町は対等という視点から13名対13名を主張。一方玖珠町は平等の視点から玖珠町16名、九重町が10名が妥当だということで譲らず、この点においても双方が物別れに終わるなど、合併を前提にするにはお互い程遠いものがあった。

今後は、双方とも大型の事業をそれぞれで完成させ互いに町づくりを進めようという気運が生じた段階で合併議論を再開すべきとの認識から今回は凍結を決定した。

発議

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

「三位一体」改革の議論のなかで、義務教育費国庫負担制度の見直しが焦点になっている。教育の全国水準や機会均等を確保する義務教育の基盤づくりは国の責務であり、そのために設けられたのが義務教育費国庫負担制度である。このようにこの制度は国と地方が義務教育に係わる共同責任を果たすためのものであり、地方分権を阻害するものではない。義務教育費国庫負担制度の見直しの中で学校事務職員の扱いについて前倒して検討すべきとの指摘がある。学校は地域や保護者に対する責任ある学校経営を行う必要がある。そのためには教育行政職の視点、能力を有する職種が必要とされており、学校事務の総括責任者である学校事務職員ぬきでは学校が成

り立たなく教育改革の実現も図られない。義務教育費国庫負担制度の対象職員として学校事務職員を引き続き堅持すべきである。次の事項について憲法教育基本法の趣旨を尊重した措置を講じられるよう要望する。

一、国の責務である教育水準の最低保障を担保するために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し「交付金化」や「一般財源化」を行わないこと。

二、学校の基幹職員である学校事務職員、栄養職員を義務教育費国庫負担制度の対象職員として引き続き堅持すること。

大分県立湯布院青年の家の存続を求める意見書について。

大分県財政改革プランの一環として、県立湯布院青年の家の廃止が検討されているが、年間の利用者数は四万人を超えて

いる。これが廃止されると近隣町に与える影響は少なくない。また、活力ある地域づくり、誇りある大分県づくりを進めるためにも、湯布院青年の家の存続は必要である。大分県のみならず県内各

町村においても同様に財政改革の推進が重要課題となっているが、利用形態の見直しや運営の合理化等を含め湯布院青年の家の存続にむけて再検討を強く要望する。



南山田小学校16名の卒業式

郵政事業の民営化に反対を求める意見書について。

郵政事業は、国民生活にとつて最も身近な国営の機関であり、郵便局が民営化になれば不採算地域において郵便局の廃止や料金の値上げが想定され、住民生活に大きな影響を与えるおそれがあるため。

一、郵政事業は国民に広く公平に都市と地方とのサービス格差もなく国民生活にとつてなくてはならない存在である。

二、地域によっては住民

票、印鑑登録証明書の交付等の取扱いも行われている。地域住民の交流の場として活用されている。

三、郵政事業が民営化されると地方の不採算地域においては各料金の値上げや郵便局の廃止も想定され、地域住民の生活に大きく影響する。

四、日本の社会資本の整備はいまだ十分とは言えず、郵便料金、簡易保険の資金はその原資として危機的状況を抱えている。国家財政に対して、これからも貢献できるものである。



民営化が議論されている郵便局

旅館、ホテル 商業・農業の支援は

町長／積極的に支援します



坂本憲治

問 高病原性鳥インフルエンザは飼い主の早い通報と行政、特に職員の皆さんの適切な対応で、無事終息宣言を勝ち取り、感謝しておりますが、風評被害による旅館・ホテル・食堂・商店そして、養鶏業者等多くのキャン

セルを受け、大打撃を受けております。関係者にとつて大変きびしい状況であり、各分野においての状況と支援策について、特に補償金、補助金、金融支援町独自の支援策も含めて検討してもらいたい。



風評被害などの影響を受けた宝泉寺温泉街

宣伝活動を推進

答一 二月十七日、鳥インフルエンザ発生後、温泉街の宿泊施設や鳥料理店等、キャンセルが相次ぎ大きな影響を受けてまいりました。誘客に向けて宣伝活動を推進します。

安全性のPR

答二 小売店の七割が風評被害による売上げ減少の影響を受けております。消費回復に向けて、安全性のPRに努めてまいります。

十分支援したい

答三 観光・旅館・商業の対策については、緊急の運転資金を融資する制度が創設され、個人3、500万、法人7、000万まで融資期間は7年間です。利子補給、無利子等、強く要望しております。いろいろな被害につきまして、支援できるところは十分支援をしたいと考えております。

大吊橋 完成後の 具体的振興は

問 町民の夢と希望を託しての鳴子川周辺整備事業も大吊橋本体工事へと着々と進行しておりますが、完成後は観光のシンボルでもあり、観光の拠点でもあるべき将来展望を踏まえて農業・観光・商業等、地域産業と具体的にどの様に進行して行くのか。

直販施設計画

答一 農林関係として、この橋を活用し、シイタケ・トマト・柿・梨、そしてブルーベリー等、青果物や加工品等の開発をし、オープンに間に合うようにしたい。
直販施設の建設も検討しております。

プロジェクトチーム 立ち上げ

答二 観光と商業の振興については、地元対策協議会、地権者協議会、地元観光協会商工会等で協議中です。

新たに町商工会、観光協会等で観光事業検討委員会を立ち上げる計画をしており、議論を早め、完成後には来客の皆さんに満足の行く方向で内容を進めてまいります。



上流に大吊り橋が建設される鳴子川

小川 克巳



上杉鷹山の 行政改革を見本に

町長／労働者派遣事業等を検討

問 米沢藩の逼迫した財政を藩主の上杉鷹山は自らの質素儉約を始め様々な行政改革で逼迫した財政を立て直した。町長も参考にして行革に取り組んでほしいが、今、町民の間で町長を始め町の有力者や行政に精通した者が将来を見越し、人材派

遣やバス等の受け皿会社を設立しているという。事実とすれば行政の私物化であり利益誘導型にも連がるし政治倫理にも抵触する。町民が不安視するような行財政改革では理解を得られず、行革は進まない。



人材派遣等が議論されている役場

答 人材派遣会社については、数年前から検討して来た。町の臨時職員も多く、現行は一年雇用で複数年の雇用等を考えると派遣職員対応もいいのではと思う、町内者で会社設立をしてもらえないかという話はして来たが、一千万の供託金が必要など会社設立には高額を要

するため進まなかったが、会社設立の話と協力依頼があり家族名義での出資をしているが、問題になつていると聞き出資の辞退届けを提出した。今後四職種等で派遣依頼の検討をしているが、さらにメリット、デメリット等を加えて研究したいと思います。

鳥インフルエンザ等の危機管理対策は

問 九重町で発生した鳥インフルエンザは、当事者の早めの通報と職員の素早い対応で感染拡大を防ぐことができたが、養鶏農家等の被害状況、支援対策や感染ルート等の

現状は、さらに今後の防疫体制強化や総合的な防疫体制を整備し、マニュアルを作り、総合的な危機管理対策を徹底すべきだ。

防災体制のマニュアル整備

答 2月14日発生以来、町としても数回の清浄検査実施、異状もなく移動制限期間についても21日に短縮され、3月11日に全面解除となりました。

養鶏農家等の救済対策は決定していませんが、農家の申し出額は三十万程度です。今後県とも相談し、助成制度を検討しています。感染源について



感染をまぬがれた近くの鳥

は、野鳥を鳥取大学で検査していますが、結果は出ておりません。防疫体制強化については、必要性を強く感じましたので、早速震災などの防疫体制や人畜に係わる防疫体制を整備しマニュアルをつくり万全を期するように努めます。

幼保一体化、今後の方針は

問 保育所の措置運営費の見直しで公立は補助金が一一般財源化されると実質的に減額となり、今後、公立は全国的に民営化の

方向へ向かわざるを得ない状況に追い込まれる。検討委員会を立ち上げたが、現状はまた、地域のニーズに応じた就学前

検討委員会で議論中

答 ご指摘のとおり公立保育所については地方交付税が減額される中、実質的に措置費等は無く、民営化の方向は強まると

思います。又、幼保一体化検討委員会は議論を重ねていますが、入り口論で終始している状況です。今後の

教育や保育を一体として捉えた総合施設が進められているが、九重町の幼保一体化の今後の方針等は。

方向性は定まっていますが、就学前教育の充実が必要であると認識している。又、人材派遣会社等への委託は考えていない。



すばやい対応に感謝

町長／国が法を見直す

問 町へ鳥が死亡した趣旨の第一報が入り、その後の素早い対応で、町長以下全課長・職員そして県、国の努力により、21日間という短期に封じ込むことができた。関係者の皆さんに感謝します。

再発しないと思うが、もしもの場合は、鳥を飼っている飼育業者には、ゴーグル・手袋やマスクの提供を……！

消毒ポイント周辺の皆さんには、協力要請を速やかに。なお、通報者へのケアを引き続きお願いしたい。

法を見直す

答 今回発生してみて、手抜かりのところもたくさんあったと思うております。

国の防疫マニュアルは、昭和26年施行の家畜伝染病予防法をもとにしたものですが、町や県が国へたくさん要望し、26年の法が大きく見直されました。

建設プラスに支援を

問 3月に初めて一般競争入札を行ったが、メリットは、予定価格の事前公表の検討は、今後どうするのか。

公共事業は一段と減ってくる。合併絡みの特需も期待薄す。建設業プラス農業とか観光とか、セミナー、情報交換、先進地視察等建設プラスについて支援を考えては……？

前向きに

答 工事の概要や、入札日時条件・要件・設定など、広く透明性が確保、業者同士の談合問題に発展する可能性が奪われ、本来の自由競争ができる。業者と行政の癒着や贈賄等が回避される等がメリットだと思っています。

事前公表は、将来的にはそういう方向に進む、電子入札制度等の構築までに内部で検討を加えた。建設業プラスアルファの支援は、協会等に伝え町でも検討したい。



災害工事等の入札で予定価額の事前公表が議論されている。

倫理の点検と再構築

問 14年度第4回定例議会で議案や予算を提案する四役、それを審議する議員は『生計を一にする、又は同居する家族をも含めて、自分からの生業に對して、補助金の受益者となる事や、町工事の受注や納入は差し控える事が大事だ』と提案、それはもつともだと答弁があ

りました。共に更に襟を正して行いたいものです。

行財政絡みの臨時職員
の派遣や将来のスクールバス等のうけ皿は、NPO法人（非営利）でガラス張りの組織を……！町民の合意を得られる仕組み、仕掛が大事だと思うが、町長は、このことについて十分に留意してとり組

みをしていただきたい。

NPOが良い

答 よその町では、人材派遣会社が無いので、第三セクターを作った所もあります。

NPOができれば、それが一番いいと思います。

今後5年間の 財政収支の見通しは

町長／均衡を保っていきける



井上 里子

問① 町の新・行政改革大綱実施計画の推進について昨年9月定例会で一般質問を行ったが、答弁のその後を中心に、計画の15年度推進状況を伺いたい。

問② 16年度は、新・行政改革大綱実施計画による行革実施期間の最終年であるが、同時に新たな厳しい行財政改革の始まりの年である。今後の行財政改革プランをどう策定するか。

プランの策定にあたっては、町民の意見を聞き、また、町民によく見える形で進めるよう要請する。

問③ 三位一体改革に伴い、町の16年度の地方交付税は前年度比1億5,000万円の減、臨時財政対策債は4,860万円の減、合わせて2億円近くの削減となっている。このペースで削減されると5年後の町の財源は、15年度より10億円近く少なくなることも予想される。今後5年間の財政収支の見通しはどうなっているのか。

答① 行政改革実施計画と推進状況は、「広報このえ」の3月号に掲載しています。

地区公民館の今後については、まだ課長レベルの検討会にとどまっています。

歴史民俗資料館は、飯田高原観光協会に管理を委託していますが、環境省が長者原一帯の環境整備を考えていますので、それとの関連もあり、現在、今後の管理運営等について協議しているところだ。

答② 行政改革を一次、二次、三次と進め、三次

が残り一年となつていきます。これまでの成果・問題点・課題を整理して、十分ご意見もいただき、第四次の行政改革プランで厳しい行革を進めていかなければならないと思っています。

答③ 現状の地方交付税制度が改悪されない限り、本町の場合、マイナスイ込みを厳しく見て予算計上していますし、地方債も18年度以降は相当抑制されますので、収支のバランスも向こう5年間でいける財政推計をつくっています。



歴史民俗資料館
(今後の管理運営等が協議されている)

ごみの正しい 排出の徹底を

問 ペットボトルは、ラベルを取り除き、ふたをはずして中をきれいにし

て出せば、リサイクル率が97%、そうしないで出せば約60%とのこと。現在、清掃センターに集ま

ってくるペットボトルの多くは、ラベルやふたがついたままである。その他のごみを含めて正しく排出するよう防災無線を利用するなどして町民への啓発が必要である。

また、発砲スチロール容器は、生ごみ等可燃物の袋で収集しているが、燃える際に火力が強すぎて焼却炉に負担がかかる



清掃センターに集まったペットボトル、びん、缶など

そうである。炉の負担を軽くするためにも、資源化のためにも、発砲スチロール等の分別収集を早期に実施できないか。

学習会に 力を入れる

答 町民には、健康カレンダーにごみの分け方を掲載して啓発しています。十五年度は、廃棄物減量等推進審議会委員のおられる行政区を中心に学習会を開催しました。16年度は、この学習会に力を入れます。

発砲スチロール等の分別収集については、17年度に試行したいと考えています。

臨時雇用の考え方は

町長／希望者は募集します



佐藤 勝憲



臨時職員等で人材派遣が議論された教育委員会事務局

問 学校用務員や給食センターの運転士を6ヶ月雇用で10月より人材派遣会社と考えていると臨時職員に通知している。この事は議会は聞いてない。話は町内に広がっている。人材会社が九重町にあるかと聞いてみると、九重

町に存在している。会社の中には九重町の最有力者が入っている。又、元町職員も入っている。有志元職員そして総務課長がいれば行政の事はなんでもできると思います。用務員や運転士を人材会社に移行すると、町の出

す5700円は本人には全額はいかないと思う。会社も儲けがなければいいと思う。町の出す賃金は本人たちに全額支払う方がよい。町の出す雇用や色々な事業は町で考え、人材会社にする事はしないようにする事と、町民が希望をもって働けるようにするのが町の事である。

答 人材派遣といういわゆる労働者派遣事業に町も取り組んでいる経過もありまして、これらを視野に入れながらこれから時間をかけて検討してまいります。新年度も引き続き臨時職員の希望がある方につきましては募集をいたしています。今後このような事につきましては、関係機関での検討を行ってまいります。その検討が整ってこればこれまでと違った形の雇用状態になってくるかもしれませんのでこの点をご理解をいただきたいと思います。



『凍結申し入れ』 良くやった

町長／今は10月まで全力で

問 合併について、町長は断腸の思いで玖珠町の方へ『凍結』の申し入れをしたと思います。この事について70%の町民は、良くやったなとお褒めの言葉が町長に来ると私は確信しています。

これから先、県・国から厳しい指導・行革も厳しく進めなくてはいいけない。リーダーシップをとって、今までどおり思い切ってやっていただきたい。

今は、
10月まで全力で

答 今の段階では、合併問題をどう解決していくか、そして町民の合意をどうやって得るか、その点がいつばいいで、今後のこの町の生き残りをかけた道筋をしっかりと10月までやらなければいけない。それがいつばいいで、それ以後のことは、今頭に一切考える余裕はないというのが現状でございます。



県知事に道路拡張を陳情する宝泉寺おかみの会

精一杯年配パワーで頑張っている姿を各所でよく見かける昨今であるが、何とかもう一息お互いに英知を出し合い、話し合い、次世代の若人が住みたくなる居住空間を造りたいものである。今は、人任せでは向上はない。行政と町民が協働の精神で一人ひとりが九重町発展の為、自覚すべきである。

行政と町民 協働の精神

一言愚言を申しのべさせて頂きます。

まず先頃二町合併を凍結すると結論を出した事について

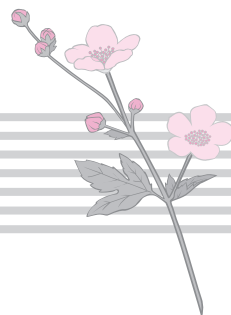


東飯田(野倉)
江藤 重太さん

て、九重町の勇断として多くの町民が受け止めていると思われる。又、九重町四役が給与の約四・五%を削減する旨決定された事についても、町を愛する姿勢の表れであろう。議員さん方にも一考をお願いしたいところです。

町内の商観業についても「食うか食われるか」の厳しい時代と思う。そう言う中で先日、県知事に県道拡張などについてホテルの女将さん方が請願に行っているニュースを見た時、女性パワーを強く感じた一人です。農林業についても、

わたしのひとこと



子ども達の安全と地域の活性化



歩道がなく危険が多い国道387号(町田付近)

今、国道387号線の潜石から富迫までのバイパス工事計画が進められているようです。皆さんは、この歩道のない道路を歩いた事があるでしょうか？ 小・中学校の子どもさんを持たれる方やドライバーの方は、通学している子どもたちを見て、「歩道の無い道路には危険がいっぱいだ」

と思うにはいられないでしょう。大型トラックが通ると歩けずに端に避けたり、雨の日は傘をさしていると車のミラーに傘が当たったり、時には道路端の田んぼに落ちてしまう子どももいたそうです。自転車通学の子どもも怖い思いをたくさんしていると聞きます。その度に、歩道ができる事を願ってきました。道路が整備され、南山田地区の将来を担う子どもたちの安全が確保される事は、今後の地域の活性化にもつながっていくのではないかと思います。



南山田(中村)
佐藤 文男さん

こんな町についてほしい

自然と心豊かな農業の町

南山田小学校6年

広田 達也さん



九重町は、自然豊かないい所です。山々に囲まれていて、川もきれいです。山にはカブトムシなどが、川には魚がいます。ぼくも時々クワガタをつかまえて行きます。農作物も育ちがいいです。田んぼや畑などもたくさんあり、ぼくの家のとなりに住むおじさんやおばさんはやさしくて、自分の畑で作ったとりたてのトマトをくれた事が

あります。おいしかったです。

ぼくは九重町の自然を残したいです。そして心も豊かな一人ひとりが協力しあい、あいさつしあう町にしたいです。なぜかと言うと、けんかしたり友達をいじめたりする人がいるからです。だから、ぼくは自然が豊かなだけでなく、心も豊かな町にしたいのです。そしてみんなが協力し合えばすばらしい九重町になると思います。自然を豊かなまま残し、農業がさかんな九重町であり続けることはとても難しい事だと思います。で

議員リレー

随想

35

単独で生きる



大石 光則

3月17日に玖珠郡の合併協議会が、凍結され事実上の解散である。

両町のスタンスが違う、基本的に法定協議会のとらえ方が違っていた。実質的な審議に入れなかったのは残念であったが、九重町としては、勇気ある決断であったと思う。町村合併は、強制的でなく自治体の生き方にまかせるべきである。

合併はするも地獄、せぬも

地獄と言われる。どうせ地獄なら、しないで地獄を脱出できる町に行かなくてはならない。行政の方も、町四役と課長の管理職手当を減額し、財政の改革が始まり、今からは行財政や機構改革に取り組み行政のスリム化に務めなくてはならないが町民サービスの低下は最小限に止めなくてはな



ヤマメなどが生息する清流

も、自然を愛し、人を愛するやさしい人たちに学ぶことができないと思います。そしてみんながやさしい気持ちを持ってほしいと思います。

らない。

町議会としても改革に取り組むべきである。議員定数の削減、減給又議員とはどうあるべきか、議員の政治倫理など勉強する必要がある。そして、単独で生き残り合併しなくて良かったと言える町作りに町民の皆様と行政と議会と心を合わせて県内外にはこれる九重町になる様頑張りますよ。



思いもしない九重町で発生した鳥インフルエンザ、早めの通報と行政対応の良さで拡大感染を見事に防いだ。

関係者の皆さん方に深く感謝申し上げますと共に、九重町民の正直さやまじめさに改めて多くの皆さんから絶賛の評価をいただいたところである。

京都の事件がなければ、これまでの評価はなかったかも知れないが……。

ともあれ、不幸な出来事ではあったかもしれないが、日常的な防疫体制や防災体制強化の必要性を強く感じさせられた事件でもあり、教訓にもなった。

雨降って地固まるの心境で今後、町民一丸となり、ふるさと九重町の発展に貢献したいものである。

KO

